

# 友情 31



日々草の花言葉：友情

彩の国いきがい大学熊谷学園 31期校友会 会報 13号

## いきがい大学熊谷学園31期10周年の節目に

31期校友会会長 奥山宮之助

私たちの世代になると、時間がたちまち経過するのように感じる人が多いようです。先が短いのに時間が速く過ぎ去るのは本当に困ります。脳科学者は「新しいことを学び続ける、新しい場所を訪れる、新しい人に会う」と脳の取り込む情報量が多くなり、時間はゆったりしてくるといいます。



自力で時の流れを遅くしたいものですが、振りかえって、いきがい大学に入学してからの10年間はまさにその実践ではないでしょうか。時間がゆったりと流れ、さまざまな活動をとおして充実感を味わえた気がします。

熊谷学園31期10周年、熊連協40周年という節目の平成27年度もお蔭さまで無事に期末を迎えようとしております。企画部に大いに汗をかいていただいた学習会、日帰り研修旅行はいずれも大勢の参加による大変有意義で盛り上がった催しであったと思います。

そして、私たちは過去10年の実績をふまえ、次の10年へ向けて校友会活動の見直しを実施しました。27年度初めの会員数88名は熊連協のなかで在籍率がトップクラスとはいえ、毎年、さまざまな事情で退会される方がおり、また、高齢化による活動内容の変化も出てきております。広報部による会報に対するアンケート実施や、総務部による31期規約の見直しを行い、組織や年会費の改革案をまとめ提案いたしました。理事会、各班のご検討を経て平成28年度総会にて決定いただきます。

最後になりましたが、平成27年度役員、理事そして会員各位のあたたかいご支援とご協力に対しまして、心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。

写真：47名が参加した研修旅行の集合写真です。（首都圏外郭放水路にて）



# 目 次

I	全体活動(総務部・企画部)	
	【定期総会】 .....	2
	【学習会】 .....	4
	【研修旅行】 .....	5
	【花のボランティア】 .....	6
	【文化祭(熊連協)】 .....	7
	【芸能祭(熊連協)】 .....	8
II	班活動	
	【1班~10班】 .....	9
III	クラブ・愛好会活動	
	【絵手紙】 .....	19
	【31期エンジョイダンスクラブ】 .....	20
	【ターゲット バード ゴルフ】 .....	21
	【歌謡】 .....	22
	【写真】 .....	23
	【ハイキング】 .....	24
IV	自由投稿	
	【川柳】 .....	25
	【突然の怪我に遭って】 .....	26
	【金沢の春・それから】 .....	28
	【中国の交通マナー】 .....	30
V	会報アンケート(広報部) .....	31

### 31期校友会定期総会

総務部 石川四郎

31期校友会が発足して10年になります。31期校友会の会員が一堂に会するのが、年一回の「定期総会」です。

定期総会の様子を「会報31」へ投稿するのは、今回が初めてです。平成25年度、平成26年度及び平成27年度の定期総会の写真を使ってまとめてみました。

#### 3年間の役員名簿

役 職	平成27年度		平成26年度		平成25年度		
会 長	奥山宮之助	1班	鎌田 武司	2班	小林 善行	3班	
副 会 長	総務部長	石川 四郎	1班	深谷 仁一	9班	石川 四郎	1班
	企画部長	八巻 剛正	10班	熊木 甫和	3班	塚越 勇	6班
	広報部長	小久 保正	3班	新井 良典	1班	浅野 次雄	1班
会 計	松本 種夫	9班	中山 能秀	7班	長谷部紀久	8班	
	前田 満穂	8班	根岸 正浩	7班	宮澤 富子	8班	
監 事	小林 善行	3班	八巻 剛正	10班	湯上 晋	10班	
	鎌田 武司	2班	小林 善行	3班	八巻 剛正	10班	



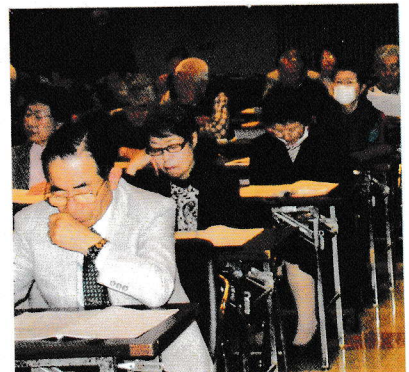
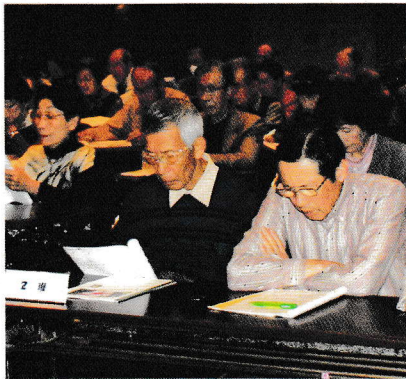
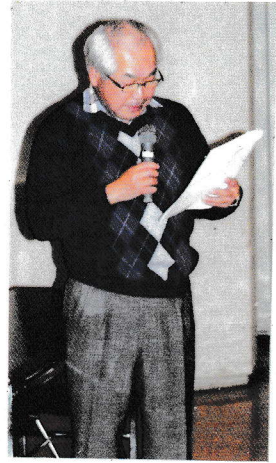
#### 三役のバトンタッチ



年度末在籍数	
年度	在籍数
19	129
20	128
21	116
22	113
23	105
24	101
25	97
26	93
27	88

(年度:平成)

31期校友会定期総会・会場風景



# 学習会「落語と埼玉県警の防犯教室」

平成27年度学習会は7月22日(水)に熊谷市勤労会館会議室で45名の会員が参加して、第1部「落語」第2部「埼玉県警の防犯教室」を開催しました。

第1部の落語は、熊谷市を中心に活躍されているサークル「落語長屋おもしろ荘」の取締亭きせる(小池 正様)さんの「そば清」です。古典とも言われるネタを絶妙な話ぶりと、扇子と手拭いだけで演ずるそばを食べる表現は素人とは思えないほど見事で、全員が集中して楽しませていただきました。

第2部の埼玉県警の防犯教室は、熊谷警察署員による講話「振り込め詐欺防止について」と埼玉県警本部「ひまわり隊」による寸劇で、振り込め詐欺防止に関する理解を一層深めることができ、有意義な学習会となりました。

平成27年度 学 習 会				
落 語		埼玉県警察の防犯教室		
演 者	演 目	担 当	講 話	寸 劇
取締亭きせる師匠 (落語長屋面白荘)	「そば清」	熊谷警察署	「振り込め詐欺防止について」	「ひまわり隊による寸劇」

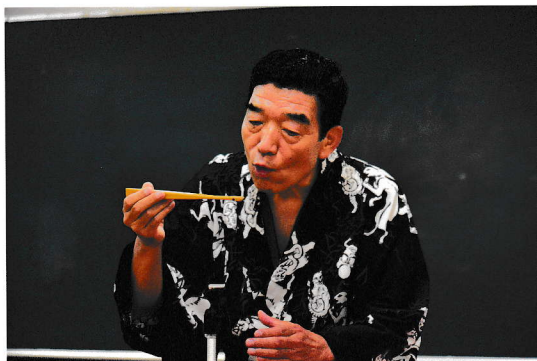
いきがい大学熊谷学園 31期校友会



上、下： 取締亭きせるさんの熱演



上：講話 下：ひまわり隊の寸劇



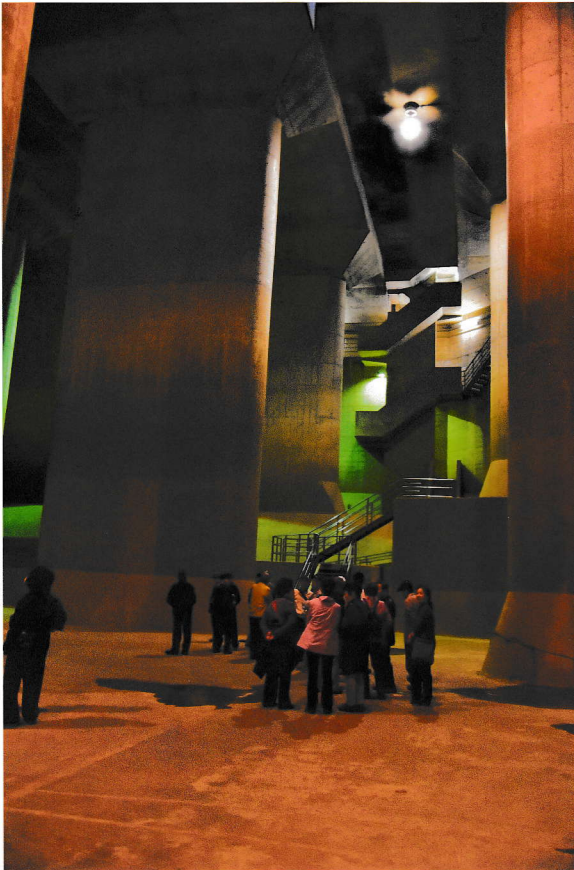
左：熱心に耳を耳を傾ける会員

# 日帰り研修旅行「首都圏外郭放水路見学他」

平成27年度研修旅行は、10月26日(月)に春日部市の首都圏外郭放水路(地下神殿)並びに、ヤクルト茨城工場・雪印メグミルク野田工場の見学を行いました。

参加した47名の会員は、地下50メートルに建設された世界最大の地下放水路の大きさや、洪水に強い都市づくりに大変役立っていることを知ることができ、びっくり！

また、ヤクルトと雪印メグミルクの工場見学では、品質管理に大変力をいれていることを認識し、加えて美味しい飲み物等のお土産までいただき大満足の日でした。



地下神殿の大きさにびっくり！  
地下神殿の集合写真は表紙に掲載しました



首都圏外郭放水路のスタッフの説明を  
熱心に聞きました



ヤクルト茨城工場にて



雪印メグミルク野田工場にて

## 熊谷スポーツ文化公園ボランティア(花ボラ)活動

熊連協の大きな年間行事として地域に貢献してきている「熊谷スポーツ文化公園の花壇花管理ボランティア(花ボラ)活動」は、31期も積極的に参加しています。

平成27年度も、春・秋の花苗植え付けと12月の落葉清掃の他、各月の除草作業に多くの会員に参加していただきました。

今年度は、5月から12月までに13回のボランティア活動が有りましたが、述べ126名に参加していただきました。これは熊連協全体の参加者1881名の中でも期別に見ると6/21番目となり、大変優秀な参加率といえるでしょう。

今後も、健康を維持して花ボラを自分のためにも楽しんでいきましょう。



# 熊連協文化祭

文化祭実行委員 石川四郎

平成27年度熊連協創立40周年記念「第26回文化祭」が、熊谷市立緑化センターで開催されました。

書、絵画、写真、文芸、絵手紙、手工芸、陶芸、園芸及びその他の9種目の作品が展示されました。作品の応募は、第22期～第39期の17の期及び2-1期～2-4期の4期、合わせて21の期からでした。

今年は、熊連協創立40周年を記念して、「熊連協40年の歩み」のコーナーが設けられ、過去の記録など沢山の資料が展示されていました。

展示会場のうち、ロビーには、書・絵画・写真及びクラブ活動などの作品を、会議室には、手工芸・絵手紙及び小物作品が展示されていました。今年の総出展作品は259点、31期の出展は、16点でした。

また、11月6日～11月9日の期間中の延べの来館者は479名、31期の来館者は19名でした。

## 31期の出展作品の内訳

種目	絵画	俳句	写真	絵手紙	ハイキングクラブ	合計出品数
作品数	1	1	9	1	1	16



〔記録写真は、主に31期の作品を掲載した〕

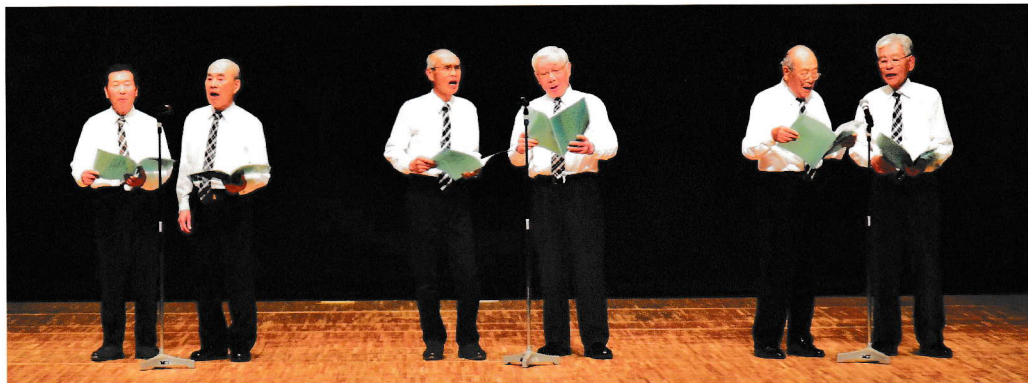


## 熊連協創立40周年記念 第23回芸能祭に4組が参加

熊連協創立40周年を記念して平成28年2月20日に第23回芸能祭が熊谷市立文化センター文化会館大ホールにおいて開催されました。

各期から合計で62組の出演があり、31期からは歌謡クラブ(代表根岸正浩さん)から2組が、エンジョイダンスクラブ(代表熊木甫和さん)から2組の合計4組が参加して日頃の練習の成果を発揮しました。さらに、他の期の童謡、ダンスなどにも31期の仲間が友情出演しました。

また、芸能祭恒例の最高齢出演者表彰女子の部に4班の強瀬延子さんが中島熊連協会長より表彰され、また最後の大抽選会の抽選者としても活躍しました。



歌謡クラブ

素晴らしい  
ハーモニーを  
楽しませて  
くれました



エンジョイ  
ダンスクラブ  
華麗なステッ  
プでお客様を  
魅了しました



表彰された強瀬延子さん

## この10年のいちばんの思い出

[ 1 班 ]

**浅野次雄** 30期に応募し落選、引続き31期に応募し入学しました。在校中秋の叙勲で瑞宝単光章を受章し、皇居豊明殿で妻と共に天皇陛下に拝謁したこと、学籍名簿1番であること、校友会1班13名と1泊旅行を含む年6回の面談の機会をもち、思い出の山が築けたこと、同志に感謝、感謝、今後ともよろしく。

**足立美代子** 皆さんと飲んで食べて、歌って話し込んだ十年間だった様に思います。一番の思い出と言えば、役員が行けなく急に頼まれて計画した旅です。鳴子峡、狛鼻溪、巖美溪、新鉛温泉、中尊寺と紅葉や舟下りを楽しんだのですが、帰途笑顔も声も出ない位疲れた顔を見て責任を感じたものですが、今となっては忘れられない思い出となっています。

**新井良典** 「ハイキングに挑む」

いきがい大学でハイキング部が創設され何も知らずに参加した。最初は寄居町の鐘撞山であった。標高は370m位、最初はそれなりに、途中からヒーヒー、ハーハー、汗はビショビショ。気がつけば一番ビリ、ため息ばかりである。ハイキングを知った一日。

**荒井セツ子** 平成23年11月奥軽井沢へ行きました。旧三笠ホテルを見学、品の良い建物の前で記念撮影、紅葉澄み渡った空気を身体一杯浴びました。赤い屋根大きな建物のホテルへ到着した時は西洋へ行った気分でした。帰り際足を痛めて班の方達に大変お世話さまに成りました。いきがい大学で良き出逢いに心より感謝します。

**石川四郎** 平成19年は31期校友会発足の年。その年に、熊連協行事の「農林公園夏祭り」「航空自衛隊熊谷基地見学」「県活動センター彩の国いきいきフェスティバル」を担当した。鎌田企画部長さんをはじめ、企画部員、大勢の会員の協力を得て終えることができた。校友会での一番の思い出である。(会報2号より)

**岩永祐介** この10年間、一番の思い出はクラブ活動で新しい仲間と一緒に楽しめたことです。社交ダンスクラブに8年間、ハイキングクラブに10年間お付き合いいただき感謝です。特に社交ダンスクラブは一大決心をして参加しただけに貴重な体験でした。先生始めペアを組んで頂いた女性陣の皆様お世話になりました。

**奥山宮之助** いきがい大学に入って本当によかった。気取っていえば「自分の世界が広がった」から。同年代のさまざまな経歴や考えかたの方々との出会い、話題の豊富さなど、人生日々勉強でした。楽しいこともたくさんあったがハプニングの方が強力な思い出というのは不思議ですね。一泊旅行の途中台風で先に行けず、電車を引き返した事など。

**岩下綾乃** いきがい大学へ入学してから十年余り長いようで短かったように思います。沢山の人にお会い出来、又色々な経験をする事が出来て本当に有意義な日々でした。班活動や校友会の行事思い出は沢山ありますが、私の一番楽しかった思い出は二年目に理事になり、企画部で農林公園で唄を歌った事です。

**荒井康央** 行事には、なかなか参加できませんがこれからもよろしくお願ひします。

**飯島良子** 都合により退会いたします。長い間たいへんお世話になりました。

## 平成 27 年度第二班の歩み



平成 27 年度、第 2 班は次の 3 点を基本にして行事を行いました。

- ① 体にあまり負担をかけないこと
- ② 時間的に無理のないこと
- ③ マイカーの乗り合わせはしないこと

したがって本年度の行事は、全て熊谷地区内で会食を中心に実施しました。

- ① 4 月 8 日：第 31 期定期総会后「旬菜茶房みかわ」にて昼食会
- ② 7 月 22 日：第 31 期学習会に先立ち、「みかわ」にて昼食会
- ③ 9 月 2 日：11:30 から「藍屋熊谷店」にて昼食会
- ④ 12 月 2 日：「ホテルヘリテージ」にて天然温泉を楽しみながらの忘年会
- ⑤ 平成 28 年 2 月に実施することになっていた第 2 班恒例の「料理教室」は都合がつかず中止としました。

平成 28 年度は新たな企画にしたがって、美味しい料理をいただきながら、楽しい会話に弾む料理教室を継続していきたいと考えています。

(河原 勝利 記)



# 今昔物語

第3班 小久保 正

熊谷学園に入園して、初めてみんなに出会った頃がつい先日のように思い出されてきます。誰しも初々しく新鮮に感じました。そして始業の前には必ず四季の歌を声を弾ませて、少年少女のように大きく口を開けて歌いました。

私達3班の仲間達もきつと

春のような暖かい心で……人に接し  
夏のような燃える心で……行動し  
秋のような澄んだ心で……思考し  
冬のような厳しい心で……己を律する  
そんな気持ちを重ねながら

あれから10年。  
改めて3班の面々 レデイババ4人とウルトラマン7人を紹介いたします。10年も経つと  
その変貌振りが白日の下にさらけ出され、本当の正体も分かってきました。

食べ過ぎて腹の出る……A さん  
飲みすぎて本音の出る……B さん  
苦しい時に愚痴の出る……C さん  
他人の幸せに妬みが出る……D さん  
困ったとき直ぐ顔に出る……E さん  
議論が白熱すると自我が出る……F さん  
見栄を張って家計に足の出る……G さん  
身体全体にしわとたるみが出る……H さん  
絶好調で更に欲の出る……I さん  
円熟味を増して色気の出る……J さん  
禿が広がり出る……K さん  
(1人で複数出ている人が複数人おります)

こんな状態ですがこれからも3班全員更に元気を出し、知恵を出し、なるべく出さない方が  
良いことは出さないようにして、改めて楽しく生きるための第1歩を踏み出したいと思  
います。ただ、しわと禿はどうしようもありませんが色気はどんどん出して欲しいです。  
なお、個人情報保護のため実名は伏せましたが、それは誰だろうなどとは混乱しますの  
で決して詮索しないようお願い致します。  
この時季花粉症のせいかくしゃみと鼻水が出てきたのでペンをおきます。  
そうそう、筆者も〇〇が出だして忘れるところでしたが、3班の今年度の活動実績につ  
いてご紹介致します。

- 27年4月8日(水) レストラン「ミカワ」にて食事会  
引継ぎと27年度の行事などについての話し合い
- 6月4日(木) 料亭「筍亭」にて食事会
- 11月4日(水) 紅葉の秩父路散策と名所見学  
会席料理「田舎家」にて食事会
- 28年1月28日(木) レストラン「徳樹庵 熊谷銀座店」にて食事会

## かさの会(四班)活動報告

- ※) 4月8日(水) 総会後の食事会 8名参加
- ※) 6月6日(土) 妻沼中央公民館にて小鹿野歌舞伎と熊谷歌舞伎鑑賞会 10名 //
- ※) 9月18日(金) みかわにて食事会 8名 //
- ※) 10月26日(月) 研修旅行(ヤクルト・メグミルク・首都圏外郭放水路見学) 6名 //
- ※) 12月11日(金) みかわにて忘年食事 10名 //

6月6日(土) 妻沼中央公民館大ホール前11時集合。昼食には、大きなおいなりさんの妻沼寿司をいただいて、いよいよ12時30分開演。

最初の小鹿野歌舞伎は「熊谷陣屋」熊谷次郎直実が平敦盛を討つたとされるが、実は我が子小次郎であったという。源義経の「一枝剪らば 一指切るべし」の制札を「一子を切らば 一子切るべし」と解釈して、敦盛を助けるため、小次郎を身代わりしたという。その後、世の無常を悟り、出家してお坊さんになった熊谷次郎直実の情けに篤い人柄に、心打たれました。

休息後の熊谷歌舞伎は「実盛物語」平家方の実盛が、源氏方の(後の)木曾義仲の出産の無事を祈り、幼名の名付け親をしたという。斎藤別当実盛の銅像が、妻沼聖天様にあるのは知っていましたが、どういう人物であったか知り得ず、今回の歌舞伎により、少し知ることが出来ました。身近で二つも同時に、地元の人物を歌舞伎により鑑賞出来たことは、大変有意義であり本当に良かったと思えました。

(12月11日忘年食事会)



## 5班の活動記録

- 平成27年4月18日(土) 手打ちそばの会 滑川町の神山さん宅  
毎年世話になっている滑川町福田の神山さんのところで、手打ちそばのパーティを開きました。

当日は五月晴れで、散るのを忘れた山桜が新緑の中に点々と残り、いかにも里山の春景色でした。

神山さんは、現役を退職後、家業の農業を継ぎ、現在10町歩のそば畑を耕し、友人から頼まれれば、時折自家用のそば粉でそば打ちをしてくれます。

山裾の高台で、ロケーションはよく、庭先に季節の花が咲いてのどかな雰囲気のある場所でした。

奥さんが畑の野菜をとってきて、てんぷらを揚げてくれ、おいしいそばをいただきました。

他班から、島田さん、佐藤さん、宮本さんの3名に参加していただき、総勢12名のにぎやかなパーティでした。

- 平成27年4月 8日(水) 昼食会 「みかわ」
- 平成27年7月23日(木) 暑気払い 熊谷駅前「いなほ」
- 平成28年1月20日(水) 新年会 熊谷駅前「いなほ」

班長 高橋 健  
副班長 清水真弓



## 絆を育てて十年

6班 塚越 勇 ・ 中村 明子

“やる気、元気、本気、で 健康と養生の、ほどほど人生・あそびの・知らせ”

私達の班活動を昨年度は10名で活動して来ましたが、本年度は2名の退会者があり、8名での活動です。

定例会は理事会1週間後の昼食会 旬菜茶房みかわ4月8日、リガーレ5月27日、7月度は1泊旅行、ガーデンパレス9月30日、11月紅葉日帰り旅行は中止、年が明け1月19日新年会でカラオケまねきねこ熊谷バイパス店で、棚沢さん友情出演・熱演された。

毎年恒例の甲州御坂田中農園ぶどう狩りを中止したのが非常に残念でした。10年がたち加齢と共に気持ちとは裏腹に体が動かなくなり、車の長距離運転が駄目になり、運転手不在になりました。美味しい高い糖度の太玉大宝ぶどうとの別れでした。

7月30日～31日伊香保温泉親睦旅行は6名参加で行いました。

熊谷駅9:58分電車で高崎駅、ホテル送迎バスで伊香保温泉へ、群馬観光物産館にて昼食、ホテル着午後2時頃少々休憩する。

本日の散策は石段の伊香保温泉ぶらぶら歩き、石段街は隣接しており、ホテル脇は上部位置で上る。すぐに伊香保神社で帰りにお参りする。



湯元通りの道を上って行く、距離はまあまである、皆若いので軽快に歩く、湯沢川に掛かる朱塗りの太鼓橋、少し上がると飲泉所で温泉を飲む、この上が湯元源泉地の露天風呂で、懐かしい場所である。帰りは往路をぶらぶら歩きホテルへ。

夕食はバイキングで好きな料理と飲み物を頂く、夕食後はカラオケ大会である。ほぼ貸切で全員が喉を披露する。驚いた、Tさんの上達とレパートリの多さにビックリポン。私も チャレンジする動機付けを頂く、ゆっくり気長に楽しもう。

2日目：今日も天気は良好、帰りの送迎バスは、15:30分 はず、伊香保ロープウェイに行く、頂上駅から見晴らし台で、トキメキデッキ・輝望の鐘からの眺望を楽しむ予定であった。緊急点検の為運休。これからどうしよう、予定が狂った。

時間はある、散策を始める、まず坂を下る、近所のおばさんと情報交換しながら歩く、この辺で美味しい食事処はありますか、尋ねて教えてもらう。

歩くといつの間にか、ロータリバス停、祭りの準備で職人さん忙しそう、石段の下から関所跡へ、ハワイ公使別邸へ、昼食時になりおばさんに聞いた食堂へ、地元の客が多く女将さん1人でやっていた。安く美味しい食事を頂き時間調整。

食事後石段街へ、関所跡付近から上る。温泉のメインストリート 400年の歴史を持ち階段数365段の石段を制覇した。また帰り時間までカラオケ三昧。

## 7班の活動報告

第7班 納見康行

今年度の7班は総会後の花見見学は雨のため中止となりました。花ボランティア(7班当番)の日も雨で中止、大雨の中、7班以外誰もいない東屋の下で近況報告や今後の活動予定の話し合いをした。皆さん多忙の中、やっと実行出来た「11月8日(日)」の日帰り旅行も朝から雨と今年度は雨づくしでした。しかしいい日もありました。主な班活動を報告します。

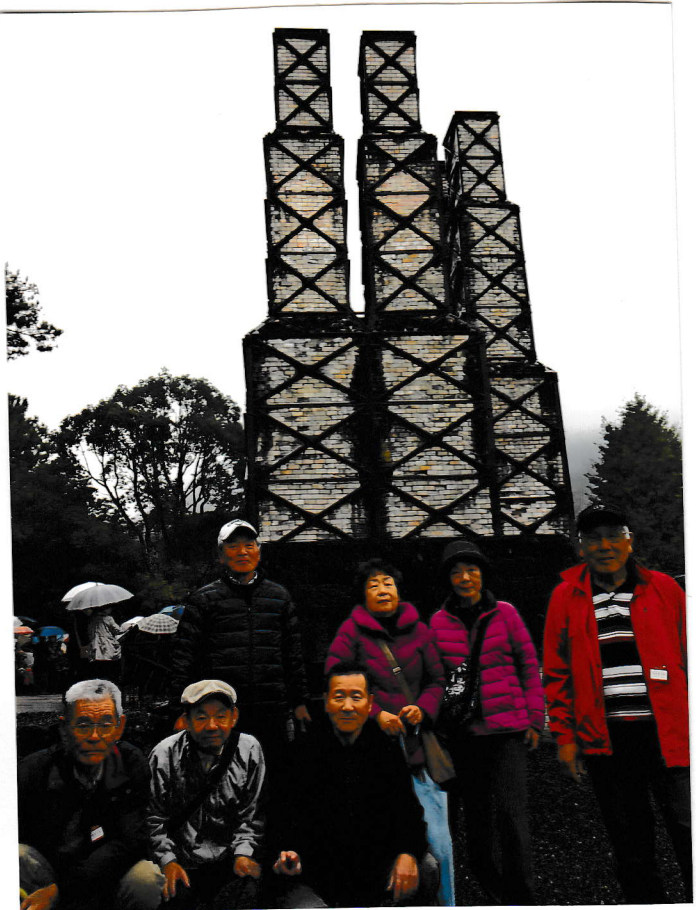
[9月25日(金)]

定例理事会後「みかわ」で食事会を行い理事会の報告をし、今後の7班活動に付いて皆さんと相談しました。

[11月8日(日)]

日帰り旅行は「沼津カキのがんがん焼き」を食べ、世界遺産韮山反射炉見学し、明治日本の産業革命の偉大さに、あらためて感動しました。「ミカン狩り食べ放題」は雨でぬかっているため中止、おみやげのミカン頂いて終了でした。

「駿河湾クルーズ」は遊覧船に近づくカモメに餌をやるのも大変楽しかった。雨の一日だったけど楽しい思い出が出来ました。



世界遺産「韮山反射炉」前で 平成27年11月8日

[12月20日(日)]

忘年会は市内の「徳樹庵」で今年度の反省会と来年度の班長・副班長を決めました。

[2月4日(木)]

日帰り旅行は長瀬駅10時現地集合で「ろうばい」を7班全員で見に行く予定です。



忘年会「徳樹庵」にて 平成27年12月20日



## 8班(ゆうの会)

班長 前田 満穂

いきがい大学熊谷学園入学以来 10 年が経過しようとしています。班員も 13 名→9 名になりましたがこれからも絆を大切に結束してゆきます。

### 長谷部 紀久

いきがい大学熊谷学園に入学以来、早 10 年あつと言う間の年月でした。

### 畑中 恵

31 期を卒業して 10 年。みんな後期高齢者時代を迎えた。子息に負担をかけないように夫婦ともに健康管理と介護予防に努力しよう。

### 円岡 浩子

いきがい大学で出会った友人達、10 年経った今でも大切な仲間です。

### 峯岸 百合子

### 前田 幸司

体を労わりながら今の人生を楽しんでいます。

### 宮崎 政子

健康で良い年になりますように。

### 前田 満穂

ボケ、認知症防止には教養、教育が大切。

小生は今日の用事を多く持ち、今日行くところを多くもうけボケ防止に努める。

### 宮崎 雪江

卒業して 10 年、現在南京玉すだれ、踊り等で施設の慰問をしています。

### 宮澤 富子

健康に気をつけ、繋がりを大切に。



## 9 班の楽しい活動状況

班長 松本種夫 副班長 柳田統子

### 1、楽しい食事会

4月の総会終了後深谷市の「すし処 酒菜」でミニ懐石料理を楽しみ賑やかに懇談し、今年度の行事計画を打合せしました。

### 2、東京府中競馬に全員意気込んでチャレンジ！（5月）

1年まえに大井競馬場で初めて競馬に挑戦し「ドキドキ・わくわく」を体験しました。今年日本一の府中の東京競馬場に再チャレンジしようと全員一致し闘志満々府中本町駅に降りました

先ず腹ごしらえと、伊勢丹府中店9階の「天ぷら 新宿ツナ八」で美味しい天ぷら料理を食べ「東京競馬場」に乗り込みました

とにかく「広い」のに圧倒されました（敷地 82 万㎡、建物 21 万㎡、収容人員 12 万人）ダービー・天皇賞などのビッグレースも開催されるコースです  
私し達が行った 5 月は緑も鮮やかで快適、またコースの内側にはアミューズメント施設もありますので家族連れにもお勧めです

さて大穴を当てようと全員が意気込み 5 レースの馬券（単・複・連）を大枚を叩いて購入し、固唾のんで一喜一憂！！（但し 1 人 5 千円以内？）

大興奮し大声挙げ応援しましたが、結果は残念ながら・・・

でも大いに楽しみ、貴重な経験をし満足して帰路につきました。

記 深谷



競馬場コース



広場



観客席

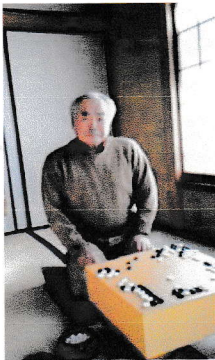
# 10年目の私達は元気でやっています (10班)

八巻 剛正



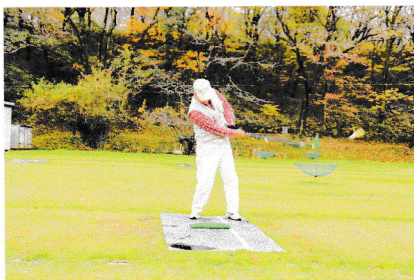
八巻 剛正

4月の「写遊塾写真展」(八木橋で開催)に向けて作品づくりの追込み中です



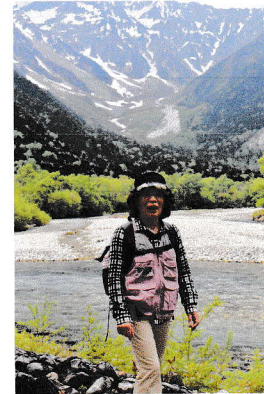
油上 晋

囲碁を覚えたのは若いころですが本格的に対局するようになったのは10年前からです。現在週2回公民館のクラブに通っていますが奥が深くなかなか上達できていない現状です。毎年12月熊谷で囲碁の大会が行われており今年で17回目です。私は二段クラスで参加して10年目ですが、各年5局の対戦で最高が4勝、それ以外は2~3勝と苦戦しています。早く5勝できるよう今後も頑張っていくつもりです。



山里日出夫

ターゲットバードゴルフが楽しくて毎週火曜日の練習会が待ち遠しいです。今年には春季親睦大会では準優勝することが出来ました。



吉田 公子

ハイキング・ゴルフ・TBGやオカリナなど頑張っています



渡辺つや江

校友会活動は出来ませんが、認知症にならない為、又足腰を鍛えて春になったらハイキングにも行きたい...との思いで、体力増強にノルデックウオークを毎日少ししています。



吉田 博子

東京に住み着いてしまったため、皆様にお会いする機会が少ないのですが、絵手紙や班活動で熊谷に来るのを楽しみにしています。たまに声を張り上げるカラオケも、また楽しみです。

# 絵手紙クラブ

絵手紙クラブ 石川四郎

「ありがとう」テーマに、三春の張子人形を5月の授業でかき、広島県の「筆の里ありがとうちよっと大きな絵手紙大賞」に出品しました。10月には、木製の取り皿に「秋の果物・ハロウィーンの置物など」をかき、熊谷市支援センターの展示会に出品しました。

また、11月の熊連協の文化祭には、8箇月間のクラブ活動の作品を写真にして、一枚の台紙に貼って出品しました。

下表は、1月から9月のクラブ活動の内容を纏めたものです。

## 【平成27年1月～平成27年12月のクラブ活動】

月	テーマ	内 容	各月の作品
1	新聞紙を挽き り「鬼の顔」の 貼り絵をつくる	★新聞のカラー部分を挽きりつて はがきに貼り「鬼の顔」にする ★言葉を書き・落款押印する	 1月
2	根の付いた野 菜、花をかく	☆長尺の画仙紙に描き、彩色する ☆言葉を書き、落款押印	 9月
3	はがきに 「絵文字」 をかく	★漢字の一部分を、「花・葉っぱ」な どに置き換える ★文字を書き、落款押印	 3月
4	「五月人形」、 「鯉のぼり」 をかく	☆五月人形の「金太郎」は、男らし く強そうに描く ☆鯉のぼりの「鯉」は大きく描く	 4月
5	「三春の張子 人形」をかく	★半紙大の画仙紙に、人形を描く ★彩色し、「ありがとう」など、感謝の 言葉を書く	 7月
6	梅雨の 「見舞い状」 をかく	☆色紙で剣先烏賊を折る ☆はがきに「烏賊」を貼り付け、乾 燥用の紐を描き、言葉を書く	 6月
7	ハンカチで作 った「物」をかく	★ハンカチを折って、「ネクタイ・ 蝶・兎」などの形にする ★はがきに描き、言葉と落款押印	 11月
8	夏 休 み		 10月
9	十五夜の「兎」 をかく	☆丸形画仙紙に「兎」を描く ☆彩色し、言葉を書き、仕上げる	 12月
10	「ハロウィーン」 をかく	★木製皿に、「果物・南瓜のラン タン・魔女の置物」などを描く	 5月
11	「年賀状」 をかく	☆「申(さる)の置物」を、爪楊枝に 墨をつけて描く⇒彩色・仕上げ ☆彩色し、言葉をいれ仕上げる	 2月
12	「サンタさん」 をかく	★画仙紙に「サンタの顔」を、大判 はがきに、「胴・脚」を描く ★はがきに顔を貼り、仕上げる	 12月
日本絵手紙協会 講師一柿沼春枝		クラブ 員	荒井セツ子、石川四郎、 柳田統子、吉田博子

## 31期エンジョイダンスクラブの活動

31期校友会も早や10年を経過し、会員数も年々減少気味であり（各期とも同様な現象）熊連協のダンス部会も各期の会員数の隔たりが大きく単独で維持している期は少なく混成チームで二つなり、三つなりで合わさり代表の期に吸収されて運営されています。また社交ダンスはレッスンを通じて高齢者の交流と体力づくり、いきがづくり、介護予防につなげるためにも健康スポーツとして大きな成果をあげております。しかしサークル活動の原点はあくまでも家族の健康が第一で体調不良の方がいると安心してサークルにも参加できません。自己管理は無論、健康であってこそサークル活動ができるのであって、今後とも家族の健康を祈りつつ、サークルに参加して生きがいのある人生をエンジョイしていきたいと思えます。

熊木南和記



H27-11-6(金)大里コミュニティセンター  
第11回熊連協ダンスパーティ



H28-2-20(土)熊谷市立文化センター  
文化会館大ホール  
熊連協創立40周年記念第23回芸能祭  
ジャイブ「大きな古時計」



社交ダンスは老若男女問わず誰にも楽しめるものです。あまり難しく考えず音楽を聴いて心が踊ったら、ステップを踏んでみようではありませんか！



H28-2-20(土)熊谷市立文化センター  
文化会館大ホール  
熊連協創立40周年記念第23回芸能祭  
ワルツ「魅惑のワルツ」

# ターゲット・バード・ゴルフ クラブ活動報告

中山 能秀

校友会の皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。  
当クラブも早いもので創立10周年にあたり「平成27年度活動計画」を基盤通り、一部開催等の変更が生じましたが、ほぼ計画通り実施することが出来ました。  
会員の皆様のご協力ありがとうございました。

## [31期校友会活動報告]

### ◆第12回春季親睦大会

平成27年5月12日(火)

場所：江南コース

出席者：15名

優勝：中山能秀

準優勝：山里日出夫

第3位：鈴木武臣

### ◆第13回秋季親睦大会

平成27年11月10日(火)

場所：江南コース

出席者：14名

優勝：田中俊之

準優勝：嶋田勝弘

第3位：中山能秀

## [熊連協活動報告]

### ◆第23回春季大会

平成27年4月23日(木)

場所：神川コース

出席者：32名(内31期6名)

団体戦優勝：31期

個人戦準優勝：鈴木武臣

第4位：中山能秀

第5位：新藤 武

### ◆川越・熊谷連協交流親睦会

平成27年6月11日(木)

場所：クリーン・コース

出席者：38名(内31期7名)

個人戦第3位：鈴木武臣

第4位：中山能秀

### ◆第24回秋季大会

平成27年10月15日(火)

場所：行田コース

出席者：33名(内31期6名)

団体戦第4位：31期

個人戦第7位：嶋田勝弘

## 31期秋季親睦大会記念写真



熊谷学園31期TBGクラブ 平成27年度大会  
平成27年11月10日 江南コース

## 31 期歌謡クラブ

部長 根岸正浩

今年度も部員の増減がありましたが、若干ではあります部員が増えました。部員の減少が常識といわれる私たちの年代の中で、非常にありがたいことと喜んでおります。

増えた仲間と共に今後も、時々はずれるかもしれませんが大きな声で頑張りたいと思います。

### 今年度の主な行事

ノウミ歌謡クラブ合同発表会	5月24日	熊谷市	ニュー さつき
ノウミ歌謡クラブ合同日帰りバス旅行	9月30日	長野方面	
新年会	1月26日	熊谷市	すすきの
熊連協芸能祭参加	2月20日	熊谷市	文化センター

### 今年度練習した曲と歌手名

お岩木山	三山ひろし	いのちの春	天童よしみ
渚の女	五木ひろし	大和路の恋	水森かおり
涙の花舞台	北島三郎	いのちの人	天童よしみ
紫陽花しぐれ	千葉一夫	愛のかげろう	大月みやこ
祖谷のかずら橋	佐々木新一	秘恋	原田悠里
おれの道	北島三郎	霧島の宿	水田竜子

新年会の様子



## 写真とは何か

写真愛好会

代表 畑中 恵

今、あなたがカメラを手にファインダーを覗いた時、そこにはあなたしか見えない世界が広がっている。有り触れた日常のひとつコマ、移り返す自然の営み、記録に挑むアスリートたちの姿など。あなたの心に触れた一瞬が写真になった時、あなたは気付くはずです。地球上には、こんなにも数限りないドラマが溢れていたことを、一枚の写真が大きな感動を呼び起こすことを。

撮りたい被写体に出会い、写真を撮り、一枚の作品に仕上げる。それは、写真を撮るあなたしかに与えられた特別な喜びと言えるでしょう。

愛好会では、奇数月が撮影会で祭り、夜景、花、スポーツなどの撮影会をしており、偶数月は撮影した作品を持ち寄り講師から批評を受けてから、撮影技術の学習を行い、撮影の高揚を目指しております。





# ハイキングクラブ「こぶしの会」の10年

田中 俊之

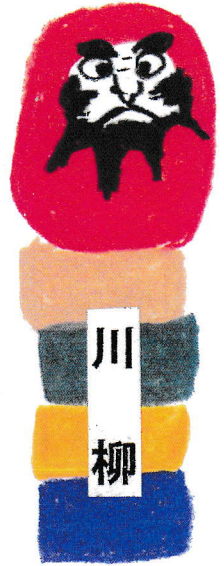
こぶしの会は、平成18年6月26日に会員15名(男性9名、女性6名)で発足し「明るく・元気で・楽しく」をモットーに10年間ハイキングを行ってきました。ハイキング回数は既に77回を数え、現在34名(男性12名、女性22名)の会員が明るく・元気で・楽しくに加え「ゆっくりと」これからも活動してまいります。



新湯富士山大沼(栃木県)の秋(平成27年10月22日)

## こぶしの会 ハイキング10年の記録

回	実施年月日	行き先	県	回	実施年月日	行き先	県	回	実施年月日	行き先	県
1	18.06.26	鐘撞堂山(発足記念)	埼玉	27	22.03.30	三義山	栃木	53	25.05.27	日光霧降高原	栃木
2	18.09.29	谷川岳 天神平	群馬	28	22.04.26	金時山	神奈川	54	25.06.20	三窪高原	山梨
3	18.08.01	安達太良山	福島	29	22.05.25	飯盛山	長野	55	25.07.30	北横岳	長野
4	18.10.31	西沢溪谷	山梨	30	22.07.29	霧降高原	栃木	56	25.09.27	高見石、白駒池	長野
5	18.11.21	三つ峠山	山梨	31	22.09.17	浅間隠山	群馬	57	25.10.23	東麓ノ登山、池の平	長野
6	19.02.27	宝登山	埼玉	32	22.10.12	田原湿原尼ヶ禿山	群馬	58	25.11.15	湘南アルプス浅間山	神奈川
7	19.04.24	筑波山	茨城	33	22.11.10	吾妻溪谷	群馬	59	25.12.20	日向山、山里歩き	埼玉
8	19.05.29	日光戦場ヶ原	栃木	34	22.12.08	美の山	埼玉	60	26.03.20	富山	千葉
9	19.06.29	大平山	栃木	35	23.04.25	軽井沢離山	長野	61	26.04.08	岩殿山	山梨
10	19.07.30	高峰高原	長野	36	23.05.24	入笠山	長野	62	26.05.20	戸隠高原	長野
11	19.09.10	那須茶臼岳	栃木	37	23.06.22	尾瀬ヶ原	群馬	63	26.06.11	日光白根山	群馬
12	19.10.26	玉原高原	群馬	38	23.07.21	湯の丸高原	長野	64	26.07.25	千畳敷カール	長野
13	19.11.19	高尾山	東京	39	23.09.26	仙石原	神奈川	65	29.09.25	聖高原	長野
14	20.03.04	吉野梅郷	東京	40	23.10.25	那須茶臼岳	栃木	66	26.10.27	龍王峡と川治ダム	栃木
15	20.04.30	妙義山	群馬	41	23.11.17	石割山	山梨	67	26.11.11	奥多摩御岳山	東京
16	20.06.08	四阿屋山	埼玉	42	23.12.14	天覧山	埼玉	68	26.12.11	小鹿野散策・忘年会	埼玉
17	20.07.18	野反湖	群馬	43	24.03.22	鎌倉アルプス	神奈川	69	27.03.16	高尾山	東京
18	20.09.26	忍野八海 山中湖	山梨	44	24.04.24	箱根冠ヶ岳	神奈川	70	27.04.28	大霧山	埼玉
19	20.10.24	八千穂高原 白駒池	長野	45	24.05.24	美ヶ原	長野	71	27.05.28	上高地	長野
20	20.11.18	榛名山	群馬	46	24.06.29	美しの森	山梨	72	27.06.18	高ボッチ、鉢伏山	長野
21	21.04.27	黒山三滝関八州展望台	埼玉	47	24.09.18	青木が原樹海	山梨	73	27.07.17	霧ヶ峰高原	長野
22	21.05.25	御岳山	東京	48	24.10.24	甘利山	山梨	74	27.09.10	大菩薩峠	山梨
23	21.07.27	草津白根山	群馬	49	24.11.08	日光半月山	栃木	75	27.10.22	新湯富士山、大沼	栃木
24	21.09.29	日和山 巾着田	埼玉	50	24.12.21	鐘撞堂山(50回記念)	埼玉	76	27.11.09	大菩薩峠	山梨
25	21.10.29	荒山 鍋割山	群馬	51	25.03.25	陣馬山	東京	77	27.12.15	小鹿野散策・忘年会	埼玉
26	21.12.02	桜山公園 城峰公園	埼玉	52	25.04.24	赤久縄山	群馬				



与太郎

誘われて 返事戸惑う 尿パンツ

昼飯に 行きつ戻りつ ワンコイン

十手先 読んで切り出す 離婚劇

役得だ 解禁前の 試し釣り

見栄っ張り チラシ折り込む から財布

すね肉を 齧りつくされ 立てぬ親

意地悪い 義母のアツシト 嘘で逃げ

タラバ蟹 食べ放題に はさみ無し

万札を 入れた祈願が 成就せず

爪の垢 探して歩く 親心

百生きて ひ孫に貰う 貯金箱



# 突然の怪我に遭って

第二班 鎌田 武司

平成 27 年 4 月 8 日に行われた第 31 期校友会総会で会長職を次期会長の奥山さんに申し送って以来、同年 10 月頃まで校友会の行事全てを欠席せざるを得ないことになってしまいました。この間同期生の多くの方々にはひとかたならないご心配をおかけしたと思います。皆様のご参考になればと思い、欠席せざるを得なくなった経緯を報告させていただきます。

実は 5 月 1 日から 6 月 17 日までの約一ヶ月半は川越にある埼玉医科大学 高度救命救急センターで慢性硬膜下血腫の手術を二度も受け、二度目の退院となった 6 月 17 日からの約五ヶ月間は手術に伴う体力回復に努めてまいりました。私は今年 80 歳になりますが、この年齢で一ヶ月を超えたベット生活が続くと体力の低下が著しく、回復には予想外の期間を要しました。特に歩行力の回復には長期間の労を要しました。

慢性硬膜下血腫とは、頭部に衝撃を受けると、それが原因となって頭蓋骨の下にある硬膜と脳との隙間に髄液などが混ざった血が貯まるという怪我の一種です。血腫というものは被膜に包まれた袋状になっています。このような現象は高齢の男性に多くみられるようですが、男女に関わらず、頭部に外傷を受けてから数週間後に、頭痛・嘔吐・精神異常・失禁・歩行障害などの症状を感じるようになった場合は、この疾患を予想して病院で診察を受けてみる必要があるそうです。

ご参考までに、私の場合の手術とその後の経過を要約しますと以下のとおりです。

総会が行われた二日後の 4 月 10 日真夜中、トイレを終えてトイレから外へでた直後、突然フラっとなって廊下に倒れたのですが、すぐ自分の力で起き上がり、ベットに入って寝てしまいました。私としては、躓いて転んだぐらいの意識しかありませんでしたので、これで一件落ち着いたつもりでした。

ところが 5 月 1 日、スポーツジムで太極拳をしていると、いつもと異なる疲れを感じましたので、近くの病院で CT 検査を受けたところ、硬膜と脳との間に血腫が貯まっていることが判明しました。ただちに病院が手配してくれた救急車に乗せられて、嫌という間もなく、埼玉医大の病院に緊急搬送されてしまいました。ゴールデンウイークの直前でしたが、さっそく翌 2 日 10 時から手術が行われました。執刀してくださった主治医は「よく早期に決心しましたね」といわれました。今思えばスケジュール的にもよい時期に手術できたと思っています。というのはゴールデンウイーク後になると、既に手術の予約がいくつも入っていた上に、ゴールデンウイーク中に病院に搬送されてきた患者も加わって、手術室が混込み合っていたからです。

手術に要した時間は、準備作業と後処置を含めて、約一時間くらい。ドリルで頭蓋骨に孔をあけ、その孔から血腫を洗い出し、血腫腔内を洗浄した後、傷口をホッチキスで止めるという手荒い手術です。局部麻酔のため、手術の様子はよくわかりました。術後の回復状況を CT で確認して 5 月 9 日退院しました。ところが 6 月に入ってもなお引きずるような歩き方がなおらないため、近くの病院で再び CT 検査を受けてみたところ、慢性

硬膜下血腫が再発していることがわかり、6月5日再び救急車に乗せられて、第一回目の手術を受けた病院に緊急搬送されてしまいました。

翌6日手術が行われました。この度は血腫の貯まり具合が前回よりも複雑（多房性）且つ多量であったため、手術の時間がやや長くなってしまい、傷口の快復にも日数を要しましたが、6月17日になって退院することができました。退院後数回通院を繰り返した後、8月19日MRI検査で快復を確認し、この日をもって治療終了となりました。

高齢化が進むなかにあつて、硬膜下血腫の症例は増加する傾向にあるそうです。脳血栓や老人性痴呆・脳腫瘍などとの識別を要する場合がありますが、この疾患のほとんどは、正しい診断とタイミングよい治療で完治するそうです。この疾患の他に疾患がない場合は自動車の運転に支障はないとのことでした。皆さんも高齢域にはいりつつありますので、転ばないように、また誤って転んでも頭をうたないように、お気をつけください。

退院後さそく自宅を拠点としてリハビリを始めました。歩行訓練最初の一週間では、足が筋肉痛になってしまい、近くの病院で鎮痛剤を処方してもらい、それを服用しながらの訓練になりました。自宅付近の田園地域を歩いてもすぐ飽きてしまうので、自動車ショッピングモールまで行って、そこで歩行訓練をしました。温度管理はできているし、歩行距離はとれるし、適当な間隔にソファが置いてあるのでいつでも休めるし、いろいろな人が歩いていたたり綺麗な商品が並べられたりしているので飽きることもないし、空腹になれば食べるところもあるし…。

このようなことをしながら約二週間が過ぎました。適当な頃あいを見計らって、ジムの仲間と遭わない時間帯になる午後の後半にスポーツジムに行き、脚力快復に主眼を置いたマシン運動を始めました。

8月になって思いきってスポーツジムの午前のコースに復帰しました。入院して以来、スポーツジムの仲間にお会いするのはこれが最初でした。突然三ヶ月もの間スポーツジムを休んでしまっていたので、何故休んだのかと心配して下さっていた仲間は、元気に出てきた私と家内を見て、皆さん心から安心してくださり喜んでくださいました。これまであまり会話のなかった方のなかにも涙を流して下さった方もおられました。

鴻巣と川越の間は、公共交通機関の便が悪く、自動車の運転ができない家内にとって、我が家と病院との往復は大変不自由でしたが、マンションに入居しておられる奥様の何人かが自発的に交代で車をだして下さったり、わざわざ病院までお見舞いにきて下さったり、私の自宅まで様子を聞きに来て下さったり、電話で様子を聞いて下さったりなどなど…、ややもすると不安な気持ちが先行しがちな私達家族にとっては、大変ありがたく心強いことでした。

入院やリハビリをしている間、いきがい大学の同期の皆さんをはじめ、スポーツジムの仲間、同じマンション居住の方などから、ご心配をいただき、何かと暖かい支援をいただきました。日頃からのお付き合いの大切さを改めて実感したような次第でした。

私は、クリスチャンではありませんが、入院・リハビリの期間中次のような歌を思い出し出しておりました。

神ともにいまして	ゆく道をまもり
あめの御糧もて	ちからをあたえませ
また会う日まで	また会う日まで
神のまもり	汝が身を離れざれ

## 金沢の春・それから

5班 高橋 健

年々歳々花相似たり、歳々年々人同じからずの五言絶句を地で行くように、昭和54年春4月、金沢兼六園内のお茶屋2階の大広間で歓迎会に臨んでいました。私の転勤2日目のことです。染井吉野は5分咲きで、街路灯の中に薄紅色の花が浮きあがって見えました。石川門から公園入口にかけて、大勢の観光客や市民がおしかけ、つかの間の桜花を楽しんでいました。

当時の金沢は、北陸地方の中核都市として富山・福井の両県をテリトリーにかかえ、取引先も多く、挨拶回りに1ヶ月もかかりました。訪問先からもらった名刺で、名刺箱3つが一杯になりました。こうして金沢の生活はスタートしました。

最初に苦労したのは、言葉と気候でした。

「弁当忘れても傘忘れるな」とよく言われますが、全くその通りで、昼食時、行く時青空であっても帰りは雨にあうことをずいぶん体験しました。布団を干す習慣は北陸にはありません。布団を収納する押入れは日当たりの良い南側に配置されているのが一般的のようです。家の中で一番お金をかけているのは仏間で、どこの家も輪島塗の立派な仏壇があり、先祖を大事にしています。亡くなった人の月命日には、寺の坊さんが必ず来てお経をあげるという昔からの習わしを守っています。

最近、輪島を舞台にした朝ドラがNHKで放映されましたが、能登ナマリを懐かしく聞きました。

「能登はやさしや土までも」と言われるように、能登は金沢とは全く異質の文化圏で大いなる田舎です。夜間自動車で走ると、ロシア語、中国語のラジオ放送の他ソウル・ピョンヤンの放送も入ってきて、にぎやかで国境の半島であることを感じさせます。

金沢市内の飲食店は、一見の客はお断りの高級割烹とその他大衆飲食店があり、店の数では片町、香林坊に集中しています。会社と自宅が歩いて10分と近く飲食街も近かったので居酒屋、スナックにはよく通いました。ママさんの出身地は、能登、福井、富山、新潟、秋田と日本海側が多く、個性をもった女性が多かったようです。横浜へ転勤の際確認したら、11店にボトルがキープしてありました。私の金沢の生活をエンジョイさせてくれた忘れがたい人たちです。

北陸はどこへいっても地域の祭りを大事にしています。金沢の百万石祭り、七尾の青柏祭をはじめ、各地で町を一帯化するような祭りがあります。その中でも、八尾の風の盆は印象的でした。八尾は山裾の小さな町で駐車場は少なく

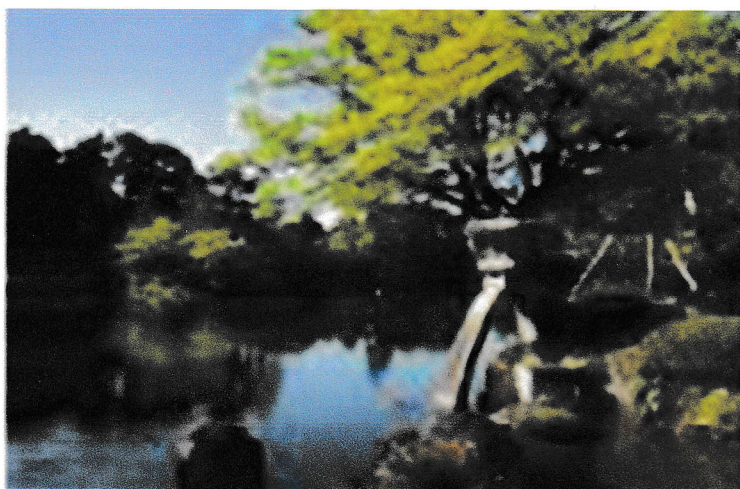
マイカーの人は、農道に車を止めて歩いていくのです。胡弓の音に合わせて編み笠をかぶった踊り娘が町内を流して歩くのですが、落ち着いた雰囲気でも多くの人に愛されています。日本の伝統的芸能として残しておきたい文化といえましょう。

金沢から北へ10キロほど行くと、内灘砂丘があります。日本海に面してアカシアの雑木林がえんえんと続いています。その一角に五郎島があり、さつまいも「五郎島金時」の主産地となっています。甘味が強く繊維質の少ない良質のいもは元禄時代からの歴史をもち、今ブランド化への取り組みを進めています。5年ほど前から地元の農家から苗を購入しています。去年は200本植えてつけて結果が良かったので今年は400本注文してみました。

金沢は、わずか5年の滞在でしたが、私にとって第2の故郷です。



石川門



兼六園

## 中国の交通マナー

7班 根岸正浩

紅葉には少し早い感じのする11月の初旬5日間であったが上海を中心とした観光地を訪ねました。

ある趣味の団体から視察団の人数が足りないので人数合わせに参加してほしい、主に観光地を回り専門的な行事はなく年齢的にも近いので気楽に過ごすことができるとのこと、同行することにしました。

観光地の説明をするつもりはありませんが交通マナーについてあまりにも驚いたので、日本との差について感じたことを書いてみます。

車が多く高速道路網も整備されており、車社会であることは日本と変わっていませんが、こんなことがありました。高速道の出口でゲートの手前が大変混雑していました。ゲートの料金所の前で豚を積んだトラックが故障らしく立ち往生しておりました、その豚のトラックの後続の車は予定のゲートを通過することができませんから当然隣のゲートでないと出られません、割り込むこととなりますが、縦に並んだ車列が他の車列に割り込むことになるのであるが大変な騒ぎでした。少しでも隙間があれば車の頭を入れてくる、また入れさせまいと強引に車間を詰める、入れないのでクラクションをガンガン鳴らす、駆け引きが始まり窓から顔を出して怒鳴る、騒々しいことこの上ない。

私には戦争の体験はないがまさに戦場とはこのようなことなのかと思ったほどでした。やっとのことで高速道を降りて一般道を走って行くのですが、これもまた混雑していました。先ほどの高速道のようなことが行われていました、少しでも油断していると右からでも左からでもバスの前に強引に割り込んでくるのです、危ないからクラクションを鳴らす、乗っていてハラハラの連続でした。良く事故が起きないものかと感心するやら落ち着いて乗っていただけませんでした。

思えば50年ほど前の日本でも車のクラクションの音がうるさいとの議論がありましたし、神風タクシーなる言葉も流行りましたが、間もなく静かになったように思います。

関越道を練馬で降りて谷原の交差点から環状8号線に入る時2車線が1車線になりますが、1台ずつ交互に入り互いに譲り合う姿を見るにつけ、日本と中国の差は、何年か後に日本のようになるのか、国民性で、このまま変わらないのか気になるところです。

## 会報についてのアンケート結果とご協力に感謝

(回答総数 83人)

### 質問Ⅰ 全体を通してどの程度読んでいますか

1. よく読んでいる……………27人
2. ある程度読んでいる……………33人
3. 拾い読みする程度……………16人
4. あまり読まない……………7人

### 質問Ⅱ 質問Ⅰで1. 2. 3を選ばれた方のみお答え下さい(いくつ選んでもよい)

1. 全体の行事や活動記事に主に興味がある……………32人
2. 各班の活動記事に主に興味がある……………52人
3. クラブ(同好会)活動記事に主に興味がある……………17人
4. 自由投稿記事に主に興味がある……………25人

### 質問Ⅲ 質問Ⅰで4を選ばれた方のみお答え下さい

1. ページ数が多く読むのが大変……………5人
2. あまり興味や関心が無い……………10人
3. その他……………2人

### 質問Ⅳ 今後発行する会報についてどのように考えますか

1. 基本的に今までのようなもの(ここ2~3年発行のもの)でよい……………24人
2. 制作費を思い切って削減して発行する……………37人
3. 発行しなくてよい……………23人

### 質問Ⅴ 質問Ⅳで2を選んだ方のみお答え下さい

1. 全体の見易さなどを重視しカラーを主に発行する……………21人
2. 記事の量を重視し、カラーは思い切って削減する……………23人
3. その他……………2人

### 質問Ⅵ パソコンをお持ちですか

1. はい……………54人
2. いいえ……………27人

### 質問Ⅶ インターネットで熊連協のホームページを閲覧したことがありますか

1. はい……………26人
2. いいえ……………52人

## アンケート結果総括

このアンケートは、発行10年を迎え各人がどの程度の興味や関心をもって読んでいるか確認する意味と、発行費76,000円(昨年実績)と総支出の30%弱を占め、会費を有効適切に使用する観点から考えてみることで行いました。従って、現状の発行形式を基本に質問し、内容そのものを見直し意見を求めて行ったものではありません。

結果をもとに今後の会報について考えると、「制作費を思い切って削減」が最も多く、「発行しなくてよい」も数多くありました。ただ、校友会全体の活動など広く情報を共有する必要性や、会員相互の心のつながりの一端を担っていく意味合いからも発行していくべきであると考えました。

このことを踏まえ今回発行した会報については、校友会全体の活動のみをカラーとし、その他の記事についてはすべてモノクロとして発行費の削減を図りました。

83人の方にアンケートのご協力をいただき有難うございました。次回発行する会報に向けても、この貴重なアンケート結果を参考にいただければ幸甚と考えます。

広報部一同